

三鷹の森ジブリ美術館 協力
第8回アニメーション文化講座

表現の追求 “手描きのアニメーション美術”

全4回
通し受講のみ

心に残る数多くの作品の美術監督を務めてきた小林七郎氏をはじめ、アニメーション関係者の取材を重ねて書籍や画集の数々を監修した野崎透氏、西洋と日本の近代・現代美術を研究してきた東京国立近代美術館主任研究員の鈴木勝雄氏をお迎えして、各専門の方々の視点から、日本のアニメーション美術を紐解いてみたいと思います。

第1回

1月14日

日本のアニメーション美術
～はじまりから今まで～

講師：伊藤 望

三鷹の森ジブリ美術館 学芸員

第2回

1月21日

アニメーション美術の第一人者・小林七郎が
いまのアニメに物申す！

講師：小林 七郎

アニメーション美術監督
小林プロダクション元代表取締役

第3回

1月28日

登場人物の心情を表現する背景

講師：野崎 透

脚本家
日本大学芸術学部映画学科講師

第4回

2月4日

高畑勲アニメーションの背景画と美術史

講師：鈴木 勝雄

東京国立近代美術館 主任研究員

いずれも火曜日 午後7時～8時30分

一般：3000円 市民：2400円 市民学生：1800円 会員：1500円

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込開始 ▶ 12月3日(火) 午前9時30分～

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

講座趣旨

アニメーション作品においては、キャラクターを取り巻く世界を作り出すために美術スタッフが大きな役割を担い、その仕事ぶりが作品のクオリティを決めると言っても過言ではないでしょう。

日本では1932年に、動画と背景が明確に分かれた全編セルロイドを使用した作品が制作され、美術はキャラクターが躍動する舞台装置の作り手として本格的に歩み出します。初期は演劇の書割のような単純なものでしたが、次々と作品が制作されるにつれ、表現と技法を掘り下げていったのです。

現在では、作画や仕上、撮影などのセクションと同じように、美術もデジタル化が進み、ほとんどが絵の具からコンピューター上での作画に替わりました。ただ、美術スタッフが設定や描き方を考え、膨大なボードと呼ばれるイメージ画を描き、試行錯誤の末作り上げるのは、セル・アニメーションの時代からなんら変わっていません。これらの作業は、日本のアニメーション美術が積み重ねてきた基礎の上に成り立っているからです。

今回の講座では、心に残る数多くの作品の美術監督を務めてきた小林七郎氏をはじめ、アニメーション関係者の取材を重ねて書籍や画集の数々を監修した野崎透氏、西洋と日本の近代・現代美術を研究してきた東京国立近代美術館主任研究員の鈴木勝雄氏をお迎えして、各専門の方々の視点から、日本のアニメーション美術を紐解いてみたいと思います。

講座開催概要

日 程	令和2年1月14日、21日、28日、 2月4日 いずれも火曜日
時 間	午後7時～8時30分
定 員	50人(先着制)
回 数	全4回(通し受講)
受講料	一般 3,000円 市民 2,400円 市民学生 1,800円 会員 1,500円
難易度	★★☆
会 場	三鷹ネットワーク大学
申し込み	<input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 窓口 <input type="checkbox"/> 郵送 いずれかで 申込受付:12月3日(火) 午前9時30分～

日本のアニメーション美術 ～はじまりから今まで～

講師：伊藤望（三鷹の森ジブリ美術館 学芸員）

第1回
1月14日

アニメーションの美術は、背景画だけでも一つの作品として完結していると思われがちですが、実際には動画とのバランスの中で制作されています。日本のアニメーションの黎明期から、今ある多種多様な表現が生み出されるまで、背景画はどのように考えられ、描かれてきたのでしょうか？美術を担った方々のお話をご紹介します。美術が果たしてきた大きな役割とその劇的な変化をたどっていきます。

アニメーション美術の第一人者・小林七郎がいまのアニメに物申す！

講師：小林七郎（アニメーション美術監督、小林プロダクション元代表取締役）

第2回
1月21日

多かれ少なかれアニメに親しんできた人で、小林七郎さんの背景美術を一度も目にしたことがないという人はおそらくひとりもないのではないのでしょうか。多数の作品の美術を手掛けてきた講師の足跡をたどることは、そのままアニメーション美術の歴史をたどることと同義と云えるでしょう。小林さんの原点、小林プロの理念、出崎統さんとの出会い、そして描き手たちが心のままに描き、新たな表現を発見する可能性、絵を描くという行為の素朴な楽しさについて語っていただきます。

第3回 1月28日	登場人物の心情を表現する背景 講師：野崎透(脚本家、日本大学芸術学部映画学科講師)
	「アルプスの少女ハイジ」や「赤毛のアン」の美術監督である故・井岡雅宏氏はそれまで単なる書割に過ぎなかったアニメーションの背景を喜びや悲しみといった登場人物の心情までも伝える“表現”へと昇華させました。そうした革新はどのように可能となったのか？高畑勲監督や宮崎駿監督らへの過去の取材、そして井岡氏が描いた美術や背景の絵画的な特徴を通して、アニメーション美術としての同氏が成し遂げた仕事について考えます。
第4回 2月4日	高畑勲アニメーションの背景画と美術史 講師：鈴木勝雄(東京国立近代美術館 主任研究員)
	アニメーションにおける背景画を「美術」と呼ぶ歴史は、実写映画における「美術」に由来するものと考えられますが、今回の講座では、講師の専門領域である「美術史」からアニメーションの背景画に接近します。美術をこよなく愛し、つねに絵画を参照しながらアニメーションの表現スタイルを更新していった高畑勲監督の仕事を手掛かりにすることで、背景美術の「美術」たる要素に注目しつつ、その魅力と表現の可能性を絵画史の側から明らかにします。

講師紹介(敬称略)

伊藤 望(いとう のぞむ) 三鷹の森ジブリ美術館 学芸員

多摩美術大学美術学部卒業。1998年スタジオジブリにアニメーターとして入社。「ホーホケキョ」となりの山田くん」「千と千尋の神隠し」などに参加。2015年より三鷹の森ジブリ美術館学芸に配属、以降ジブリ作品の収蔵、保存を担当。

小林 七郎(こばやし しちろう) アニメーション美術監督、小林プロダクション元代表取締役

1932年、北海道生まれ。小学校の教員を経て、1964年10月に東映動画(現東映アニメーション)に入社。1968年には小林プロダクションを設立し、数多くのアニメ作品において美術監督を歴任、美術背景を手掛けた。小林プロでは指導者として優れた美術監督を多数輩出した。代表作に「ガンバの冒険」「宝島」「あしたのジョー2」「うる星やつら2 ビューティフル・ドリーマー」「ルパン三世 カリオストロの城」「少女革命ウテナ」「のだめカンタービレ」など。

野崎 透(のざき とおる) 脚本家、日本大学芸術学部映画学科講師

脚本家、編集者、小説家、日本大学芸術学部映画学科講師。主な仕事は、「母をたずねて三千里」(ムック、DVDボックス・ブックレット)「赤毛のアン」(ムック)、「時をかける少女アートブック」、「おおかみこどもの雨と雪 アートブック」、「風立ちぬ アートブック」、「井岡雅宏画集」(美術集)、「小林七郎画集」(美術集)等(以上、編集)、「ガサラキ」「ウィッチハンター・ロビン」「火の鳥」「ヤングブラックジャック」等(以上、脚本)、「龍が棲む湖」「ガサラキ」「アルジェント・ソーマ」「デッドポイント」(共著)「ダイバージェンス・イヴ」等(以上、小説)。

鈴木 勝雄(すずき かつお) 東京国立近代美術館 主任研究員

東京大学大学院博士課程修了(美術史)。1998年より現職。専門は日本および西洋の近代美術。同館での企画展に「沖縄・プリズム 1872-2008」(2008年)や「実験場 1950s」(2012年)、「アジアにめざめたら:アートが変わる、世界が変わる 1960-1990年代」(2018年)などがある。2019年には、「高畑勲展—日本のアニメーションにのこしたもの」を企画。近年の論考としては、「コモレションの行方:戦争の記憶と美術館」[成田龍一・吉田裕編『岩波講座アジア・太平洋戦争 戦後篇 記憶と認識の中のアジア・太平洋戦争』(岩波書店、2015年)]や、「タブローの行方—一九五〇年代後半の美術の分岐点」[鳥羽耕史・山本直樹編『転形期のメディアロジー—一九五〇年代日本の芸術とメディアの再編成』(森話社、2019年)]など。

三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

※太枠内の項目は必須事項です。

登録日： 令和 年 月 日

お名前	フリガナ	性別	男・女	生年月日	西暦 年 月 日
受講者区分 ※該当する番号を1つ選んで○をつけてください。	(1)【市民】三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2)【市民(在勤・在学)】三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3)【市民学生】三鷹市にお住まいの学生の方 (4)【会員】勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5)【一般】三鷹市外にお住まいの方				

Eメール					
緊急連絡先	携帯電話番号：		携帯Eメール：		

《郵便物の送付先※振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

郵便物送付先	ご自宅	勤務先
---------------	-----	-----

《ご自宅》

ご住所	〒 —				
電話番号		F A X			

《勤務先・学校名等》

勤務先名称	※学生の場合は学校名と学部・学科名				
勤務先部署名	※学生の場合は学籍番号			役職名	
ご住所	〒 —				
電話番号		F A X			

《ご職業等》※職種・業種について該当するものにそれぞれ○をつけてください。

勤務先業種	①官公庁 ②団体 ③教育 ④宗教 ⑤医療 ⑥建設 ⑦金融・保険 ⑧製造 ⑨運輸・通信 ⑩農林水産 ⑪電気・水道 ⑫不動産 ⑬卸・小売 ⑭飲食 ⑮IT・ソフト ⑯その他				
職業(職種)	①経営者 ②役員・管理職 ③一般事務 ④営業 ⑤販売・サービス ⑥生産管理 ⑦研究開発 ⑧専門職(医師・弁護士等) ⑨教職 ⑩自由業 ⑪専業主婦 ⑫無職 ⑬その他				

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

情報提供	希望する	希望しない
-------------	------	-------

《興味をお持ちの分野》※3つまでお選びください。

1 経営・経済学	2 歴史学	3 法学	4 文学	5 工学	6 教育学	7 福祉・医療	8 介護・看護
9 コンピューターサイエンス	10 アジア・アフリカ系言語	11 総合政策	12 国際関係論	13 政治学	14 天文学	15 農学	16 臨床心理学
17 カウンセリング学	18 社会心理学	19 国際コミュニケーション学	20 スポーツ医学	21 マーケティング学	22 人間環境学	23 キャリアデザイン等	24 社会福祉学
25 情報科学	26 情報コミュニケーション学	27 グローバルビジネス学	28 宗教学	29 平和学	30 生物学	31 化学	32 数学
33 教養学	34 建築学	35 その他					

◆**受講者登録について** *すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に（講座のお申し込みと同時に）、必ず受講者登録を済ませてください。ご登録をしていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を入力する手間がなくなります。またインターネットからのお申し込みも可能となります。

◆**個人情報について**

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

D03

三鷹の森ジブリ美術館協力
第8回アニメーション文化講座
表現の追求 “手描きのアニメーション美術”

申込用紙

受講者 番号	E から始まる数字 6 ケタをご記入ください。 E	申込日	令和 年 月 日
名前	フリガナ	電話番号	

※申込欄に○をご記入ください。

申込欄	講座タイトル・講座日程・講師	受講料	受付印
	三鷹の森ジブリ美術館協力 第8回アニメーション文化講座 表現の追求 “手描きのアニメーション美術” 第1回 1月14日 講師：伊藤望（三鷹の森ジブリ美術館 学芸員） 第2回 1月21日 講師：小林七郎（アニメーション美術監督、 小林プロダクション元代表取締役） 第3回 1月28日 講師：野崎透（脚本家、日本大学芸術学部映画 学科講師） 第4回 2月 4日 講師：鈴木勝雄（東京国立近代美術館 主任研 究員） いずれも 火曜日 午後7時～8時30分 [D1950300]	一般 3,000円 市民 2,400円 市民学生 1,800円 会員 1,500円	

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422（40）0313 ファックス：0422（40）0314

[郵送での申込]〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階 三鷹ネットワーク大学事務局

この講座をどこでお知りになりましたか？（該当するものに○を1つだけご記入ください）

- | | | |
|---------------------|----------------|-----------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 5. 学内ポスター・チラシ | 9. その他（ ） |
| 2. ダイレクトメール | 6. 講師・教職員よりの紹介 | |
| 3. 三鷹市広報 | 7. 友人・知人よりの紹介 | |
| 4. ポスター／チラシ | 8. 新聞記事等 | |

【ご受講について】

●受講料のお支払いについて

受講予定者の方には、受講料のお支払い方法についてのご案内をお送りします。郵便振替、現金等、書類に記載されている方法で、お支払いいただきますようお願いいたします。受講予定者としてご通知した方からの受講料のお支払いを事務局が確認できた時点で、受講が確定します。期日までに受講料をお支払いいただけない場合には、お申し込みを取り消す場合がありますのでご注意ください。※お支払い方法は、講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください。

●受講のキャンセルについて

- 講座申し込み後にお客様の事情により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。
- 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座のキャンセルをしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申込期間内のみ受け付けます。
- 受講料入金後のキャンセルについて

1. 講座前日（連続講座の場合は第一回講座前日）までに申し出があった場合

キャンセルの申し出があった日から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、全額返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料500円以下の講座については返金はいたしません。

2. 講座当日（連続講座の場合は第一回講座当日）、講座開始時刻前に申し出があった場合

講座当日（連続講座の場合は第一回講座当日）から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、500円の手数料を差し引いた残額を返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料500円以下の講座については返金はいたしません。

3. 1, 2以外のキャンセルの場合

受講料の返金はいたしません。

●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。受講資格を他の人に譲渡することはできません。